平成29年度愛媛県保育協議会 研修会等アンケート集計結果

研修会等名 愛媛県保育士・保育教諭研修会

集計数	258		
回収率	87%		

						_ ~ .	,•
性別	性別	男	女	無回答			
		9	245	4			
	3%	95%	2%				
		20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
	年代	83	85	47	38	3	2
Q 1		32%	33%	18%	15%	1%	1%
Q I		東予	中予	南予	無回答		
地域 研修会を知った 方法	地域	75	86	93	4		
		29%	33%	36%	2%		_
		メール・FAX	ΗP		その他	無回答	
		95	2	1	73	87	
	37%	1%	0%	28%	34%		
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
	講義Ⅰ	127	120	6	0	5	
	49%	47%	2%	0%	2%		
	具体的かつとても理解	しやすかった	÷ ,				

- ・具体的かつとても理解しやすかった。
- ┃・保育所指針をもっと読み込んで研修会に来たらよかった。保育所指針を持ってくればよかったと ┃反省した。
- とても聴きやすい講義だった。
- ・手元に新しい指針があればよりわかりやすかった。
- ・わかりやすく、もう少し話を聴きたかった。保育指針の話+ワークショップにも興味を持って、参加の機会を作っていきたいと思う。今年度はO歳児なので特徴を生かした楽しい保育を作っていきたい。
- ・保育士自身も楽しくないと子どもも楽しくないし、子ども自身「させられている」と感じたら、 その先が続かないとわかった。
- ・日々の保育に追われ、なかなか勉強できなかったので、話を聴くことができてよかった。
- ・内容はとても勉強になった。スクリーンの内容のメモを取る時間があまりなかったので、もう少し見せてほしかった。
- ・自分の保育を見つめなおすいい機会となった。
- ・保育指針知らないことばかりだったが、どこが変わったのか詳しく説明してもらえよかった。
- ・保育の形や見栄えを気にするのではなく、子どもたちが自分から活動をしたいと思い、みんなで楽しみ協力し、発展させていく活動が大事だということ。自分の保育を振り返り反省した。
- ・改定されたものをもっと具体的に目を通していきたいと思った。
- ・内容的には楽しく学べたが、やはり保育指針を個人的に読み解くとなると難しいので、このよう な講義はありがたい。
- ・改めて保育の意味を考えることができた。
- ・子どもの気持ちを大切にする保育、就学前までに育てておかなければいけない非認知的能力の大切さがよく理解できた。
- 少しわかりづらかった。
- ・写真を使ってありわかりやすかった。保育現場での例を知りたかった。
- ・集中力が切れてしまいそうなタイミングでしりとりゲームや指あそびなども楽しみ、"勉強" "真面目に"という雰囲気ではなく、楽しく講義を受けられてよかった。
- ・スクリーンの文字を書き写すことに必死になり、先生の話をじっくりと聞けなかったのが残念…
- 0~3歳児未満の成長の大切さを改めて知れた。
- ・今日の講義を振り返って保育指針を読み直し、支援計画へ役立てたい。
- ・優しい口調で話がわかりやすく入ってきた。
- ・保育指針の内容を理解しきれていなかったので、改定されるところを聴いてもピンとこないところがあった。
- ・後半、時間が短かったからか早口になり、前半のような理解しやすさに欠けた。
- 話の流れに沿ったレジュメがあると、より理解しやすかったと思う。

- ・保育所保育指針について具体的に聴くことができよかった。園内でも研修をしたいと思った。保 育士自身が自分の保育を振り返ることの大切さを改めて感じた。
- ・改めて子ども主体の保育について考える機会となった。五領域についてもよりわかりやすく知る ことができた。
- ・保育指針を読み返すことも少なくなり、改めて乳幼児の健やかな成長への対応を知ることがで
- き、書類作成、日々の保育へのヒントになった。 ・改定後のポイント、特に5領域について詳しく話してもらい、参考になった。
- ・スライドと資料が前後していて、少し見にくかった。
- ・主体的、対話的ということがよくわかった。
- ・改定のポイントなどは少しわかったが、新旧合わせて話して示された方がわかりやすかった。表 現の思いが強いのがわかった。
- ・とてもわかりやすく話で、指針を持っていたので読みながら聴くことができてよかった。持って きていない人もいたので、準備物として書いてあればよかったのでは…。
- ・ 0歳児保育が充実したことはよかった。養護の部分を大切にしていきたい。・楽しくて夢中になれる保育を設定することの大切さを学んだ。
- ・改定によって特に自分たちが変わらないといけないというわけではなく、いつもの保育の内容 (子どもたちが主体的になれる保育)を大切にしていかなくてはならないのだなと思った。
- ・解説がわかりやすかった。アクティブラーニングを取り入れていきたい。 ・乳児保育特に0~1歳児について、今までの指針とは変わっているところもあり、勉強になっ た。これからの保育に活かしていきたい。

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
発表・グループ討議	105	132	16	1	4
	41%	51%	6%	0%	2%

- ・他園の保育方針などの取り組みを聴くことができ、とても参考になった。
- ・もう少しまとめがほしかった。
- 発表ではいろいろな取り組みをされている話を聴いて面白かった。発表者の方が突然の質問に対 応するのが大変かなと思う。いろいろと質問をしたくてもなかなか発言には勇気がいるので、質問 を紙に書いてもらうのもいいかと思う。ただ、全部に答えるのは難しいかとも思う。
- 各園の取り組みについて知り、参考になり刺激にもなった。自分も今に満足せず、たくさん勉強 していろんな保育に挑戦したいと思った。
- ・地域の方との交流やふれあいを通して子どもの変化がわかりやすく紹介されていたと思う。担当 制について園に持ち帰り、話し合ってみようと思った。
- ・同じ悩みを持っている園や今の状況等話し合うことができたが、発表についての質問や感想を話 すことができずに終わってしまった。
- ・グループ討議に1時間も?と初めは思ったが、グループ内和気あいあいとあっという間だった。 もう少し深められたら、と思うほどだった。
- ・環境(死角をなくす、小さな空間づくり) で子どものトラブル減少やあそびを中断することなく じっくりと遊べるというのが、実践してみたいと思った。
- ・1~6名と手をつないでの遊びが難しく、夢中になってがんばった。実践で使ってみたい。
- ・保護者支援はどこも悩んでいるのだと共感でき、がんばろうと思えた。
- 資料が少なく、早くて聴き取りにくかった。
 - ・おだやかな環境の中で、ゆったりと保育されているのが伝わった。参考にしたい。
 - ・いろいろな園の話を聴き、視野が広がってきた。
 - ・発表は自園でも問題になっていることがいくつかあり、参考になった。グループ討議は内容があ まり具体的に話し合えるものではなかったと思う。
 - 発表がわかりやすくてよかった。
 - ・討議の議題があいまいで話し合いにくかった。
 - ・他園の保育士の感じていることを聴いたり、話し合うことができ、充実した時間を過ごせた。
 - ・自分のいたグループにはたまたま担当制を実践している園があり、充実した話し合いになった が、その他のグループはどうだったのか。
 - ・他市の話を聴くと、同じ愛媛県内でも全然違うとびっくりした。
 - 2園の事例を聴いて、地域によっての取り組みなどがわかり、いろいろな保育の仕方があると感 じた。
 - ・直井先生が楽しそうに話されていたので、楽しく聴くことができた。楽しく保育し、子どもがや りたいと思える活動になるよう工夫していきたい。
 - ・担当制や保育者同士の連携の大切さを改めて知った。
 - ・保育者の悩みを痛感した。解決ができないのでじっくりと話したかった。
 - ・事例が身近な内容でよかった。
 - ・おもちゃ支援アドバイザーの質問があったが、答えがなかったのが残念。
 - 発表された2園の先生方、資料もわかりやすく、素晴らしい発表だった。
 - ・グループ討議で様々な立場(バラエティーに富んでいた)の保育士と和やかに発表について話し たり、悩み、情報などたくさん話し合うことができ、午後の眠くなる時間を有意義に過ごせた。 ・空間についてや信頼関係の大切さについて改めて知ることができた。また地域とのかかわりもと
 - ても大切なんだと感じた。

- グループ討議の時間が長かった。
- |・保護者に保育を伝えること、専門職として伝えることは伝えていくことについて考え直す機会と |なった。
- ・最近の親子の様子にうなずくことが多かった。
- ・担当制や地域、高齢者施設などのふれあいは、自園では設立当時から実践しているため、新しい 感覚には感じられなかった。
- ・年齢に応じた対応、それぞれの園で努力していること、悩みなどを聴くことができた。課題はどの園も似ていると感じた。それをどのように改善していくのか、園の特色が生きるといいなと思った。
- 説明がわかりにくく、どうしたらいいかわからない時間があった。
- ・テーマが大きすぎたと思う。具体的なテーマで、要点を絞って話し合いができるようにすればい いと思う。
- ・0・1歳児の保育がいかに大切か、学ぶことができた。
- ・同じグループになった方の話の内容が不満ばかりだったのが気になり、話が盛り上がらなかった。 た。
- ・環境がとても参考になった。なかなかできないことではあるが、工夫していきたい。
- ・少し先の子どもの姿を思い浮かべながら保育をしたいきたい。
- 一人ひとりがグループの中で自分の思いや考えを述べるのには時間が不足していた。
- ・もう少し具体的な話が聴きたい。

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
講義Ⅱ	182	64	5	0	7
	70%	25%	2%	0%	3%

- ・人間関係の大切さ、認め合うことの素晴らしさを感じることができた。
- ・楽しく講義を受けることができた。スーザンの話が印象に残っている。
- 自分の何気ない一言が相手を嫌な気持ちにしたり、うれしい気持ちにしたりしていることを感じた。うれしい気持ちをたくさん投げかけたい。
- ・まずは自分を認めること…心に残った。また話を聴きたい。
- ・楽しい雰囲気で、だけどとても大切なことを話されていて、心に響く言葉がたくさんあった。
- ストロークをこれからも与えられるようにしたい。
- ・ストロークをたくさん発揮して生き生きと過ごしていきたい。
- ・2日間の中で一番心に残った話だった。
- ・自分の人生や保育を見直すことができた。
- ・子どもを育むうえで一番大切なことを改めて感じることができた。話も面白く、リラックスして 楽しく学ぶことができた。
- ┃・知りたいこと(親子のふれあい)、肉体的ストローク、心理的ストロークがすごくわかりやすく |勉強になった。
- ・さっそくストロークを我が子、園の子どもたち、自分のまわりの人々にふりまけたらと思った。
- あっという間の2時間だった。
- ・具体的な例があり、とてもわかりやすくて楽しかった。
- ・明日からの保育に活かしたい。
- ・めいっぱいクラスの子どもたちにストロークをあげられる保育士になりたいと思う。
- ・「認める」ことの大切さを改めて感じた。
- ・子どもとのかかわりでマイナスのストロークをしていたことを反省した。明日からプラスを心が けていきたい。
- ビデオなどで具体的にわかりやすく聴けたのでよかった。
- 動画が乱れて見えにくかった。
- ・もっと聴きたいと思う内容だった。
- ・叱ることが多いので、言葉かけに気を付け、気持ちがUPできるようにしたい。
- 覚えておきたい。
- ・自分が肯定的な考えを持ち、幸せになるようがんばろうと思った。
- ・人とのかかわり方を実体験をふまえて教えてもらい、よかった。
- ・楽しい話の中にも心にくる内容で、自分の人生に活かすことができそう。
- ・自分の子育て、保育観を見つめなおせた。
- ・自分を認めてもらうことがどれだけうれしいか、幸せか、感じることができてよかった。子ども や保護者にしていきたい。
- ・ほめられて認められると大人でもうれしかったので、子どもはもっとうれしいと思う。実践していきたい。
- ・人間関係の大切さや愛情表現等が人格を形成してくことをわかりやすく学べた。
- ・自分の子育てを振り返ったり今の保育の中での自分を振り返ったりすることができ、自分を見直 すことができた。本音を言うことが苦手で壁を感じることも多いので少しずつ変われたらと思う。
- ・講師の方の声のトーンが聴きやすく、話の内容もよく理解できた。自分を振り返りながら園児や保護者への思いをはせた。
- ・あきらめやすい子ども、自己肯定感を持てない子どもが増えてきていると感じたが、プラスのストローク不足がつながっているのだなと勉強になった。
- ・子ども(人間)にとって一番大切なものが改めてわかった。
- ・衝撃的なこともあったが、勉強になった。
- 3歳までのストロークが大事なんだと改めて感じた。

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
実技	211	34	2	0	11
	82%	13%	1%	0%	4%

- ・童心に戻り、体を動かす楽しさ、人と触れ合う幸せを思い出した。またお会いしたい。
- ・先生の元気さに勇気づけられた。何よりパワーをもらった。
- とても楽しかった。
- ・いろいろな運動遊びを学べてよかった。保育に取り入れていきたい。
- もう少し休憩がほしかった。
- ・明日からの保育でも子どもたちと楽しみたい。
- ・いろいろなふれあい遊びを知ることができ、保育でも実践してみたい。
- ふれあい遊びは参観日などで行っているので参考になった。
- ・あっという間だった。また受講したい。
- ・実際に体を動かしながら、いろいろな運動遊びを経験することができよかった。
- 子どもたちに教えてあげたいものがたくさんあった。
- 男子同士だからこそ動きにくいこともあった。
- 運動会に向け参考にしたい。
- ・ペアの相手を固定してくれてやりやすかった。思い出しながら実践していきたい。
- ・最後まで体を動かして参加できるか心配だったが、静と動の兼ね合いがきれいに入り、無理なく 楽しめた。
- 手話のかけ合いダンスが楽しかった。
- ・リフレッシュできた。
- すぐに使えそうなものばかりでよかった。
- ・低年齢児でもできる内容でよかった。
- ・実勢に動いてみることで楽しさを味わうことができた。バルーンも楽しかった。
- ・ふれあい遊びを通して様々な動きを学ぶことができた。
- ・楽しくもあり、感動もあり、とてもいい時間だった。
- ・先生の明るい太陽のような笑顔を見て元気になった。その笑顔を真似していきたい。
- やっぱり実技は楽しい。
- ・久しぶりに思い切り体を動かして若返った気がする。明日からの保育をがんばっていきたい。
- ・0・1・2歳児のふれあい遊び、運動遊びを楽しみながら学べた。
- ・食後なので、午前中の方が動きやすいかったかも…と思った。
- ・運動会に使えるものもあったので、もっと早い時期にした方がいいと思った。
- ・運動を苦手とする子が多い中で、楽しくできるこの遊びはとても参考になった。
- ・体を動かしながらコミュニケーションをとる楽しさを子どもたちにも伝えたい。
- ・すぐに覚えられないので研修を重ねたいと思う。
- 単純なリズムや歌詞でわかりやすかった。
- 先生が若くてパワフルで魅力的だった。
- ・知らない人ともふれあい、保育者同士のつながりを感じることができた。
- ・最後のダンスをみんなで踊ったのは感動した。
- ・保育者自身が楽しんでいきたいと思う。
- たくさんふれあうことができ、笑顔になった。
- その場で販売もあるとうれしかった。
- 1つの曲で何通りもの遊びができることがわかったのでよかった。
- ・たくさん走ったり踊ったりして疲れたが、嫌な疲れ方ではなく、動いた後も笑顔になる運動だった。他園の方とも仲良くふれあえたのがよかった。
- 空調をもう少し効かせてほしかった。
- ふれあうことは苦手だが、子どもたちとならたくさん楽しめそう!
- ┃・体を動かしながら子どもの気持ちになってすすめていく、楽しめるようにしていくいろいろなポ ┃イントを教えてもらってよかった。
- ・食後だったので体を動かすことで眠くならず楽しく参加できた。

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体	164	84	2	0	8
	63%	33%	1%	0%	3%

- ・改めて保育士という職業の大変さと大切さを感じることができ、もっとがんばろう!と思うきっ かけになった。
- ・保育に役立つ内容だった。
- ・新しい指針についての話やパネル・グループ討議がとても充実していて、有意義な研修だった。
- ・今自分が悩んでいる部分も含まれている研修だったのでよかった。
- ・保育所に戻って他の先生方に伝えたいと思うことがたくさんあった。
- ・講義内容が充実していてたくさん勉強することができた。園や自分の家庭でいかしていきたいと 思う。
- ・どの講義も印象的でよかった。
- ・子どもたちとこれからもっと楽しい毎日が過ごせるよう、さらにがんばっていきたいと思った。
- たくさんの情報を共有することができよかった。
- ・流れに任せた日々が続いていることに気付くことができ、子どもに対して上からの態度が出るこ ともあったように思うので、明日から初心に戻りがんばりたい。
- ・会場の設備もよかった(空調、机の広さ等)。 ・たくさん体を動かして学ぶ講義もあり、頭だけではなく体で覚えることができた。今後の保育に 活かしていきたい。
- ・指針、グループ討議、講義Ⅱ、実技と、どの項目も学べる内容が違ったので満足感があった。
- ・レジュメを増やし、要点をメモしやすくしてほしい。
- ・内容的にこの時期にぴったりでとても参考になった。
- 実技はすぐに使えるのでよかった。会場が寒かった。
- ・2時間以上の講義ではトイレ休憩がほしい。
- 具体的な内容でわかりやすかった。
- ・保育の様々な視点から学ぶことができた。
- グループ討議のメンバーと仲良くなれてよかった。
- ・度の講義も今の自分の保育を見つめなおすことができた。
- ・実際の保育に直結した内容が中心でよかった。
- 楽しんで取り組むことができた。
- ・弁当を注文していないのに注文していることになっていた。
- 保育につなげていけるように学んでいきたい。

Q7 今後、取り上げてほしいテーマや講演を聴いてみたい講師など

- 運動遊び
- ・年齢ごとの制作、絵本について
- ・保育所の厳しい現状の解決策はないか(保護者支援、保護者(園を利用する際)の常識等の伝え方)
- 実技
- 保育指針について
- 音楽関係
- ・保育発表会の取り組み方、参考にできる踊り、表現、劇
- ふれあい遊び
- 保育士のメンタルケア
- ・保護者支援を事例を交えて詳しく学びたい。
- ・行事衣装や小道具づくりのヒント
- 環境構成
- ・食育
- O 1 2歳児向けの運動あそび
- ・竹中先生
- ・藤原先生
- ・ぼっこ園の先生
- おはなし屋えっちゃん
- ・越智ミドリ先生
- ・うさぎのしっぽ 曽我部安子先生
- ・ゴルゴ松本さん 命の授業
- ・新沢としひこさん
- ・大豆生田先生
- 菊地まさたか先生

※課題のみ抜粋

- ・内容はとても勉強になった。スクリーンの内容のメモを取る時間があまりなかったので、もう少し見せてほ しかった。
- 少しわかりづらかった。
- ・保育現場での例を知りたかった。
- ・後半、時間が短かったからか早口になり、前半のような理解しやすさに欠けた。
- ・話の流れに沿ったレジュメがあると、より理解しやすかったと思う。
- ・スライドと資料が前後していて、少し見にくかった。
- ・改定のポイントなどは少しわかったが、新旧合わせて話して示された方がわかりやすかった。
- ・とてもわかりやすく話で、指針を持っていたので読みながら聴くことができてよかった。持ってきていない 人もいたので、準備物として書いてあればよかったのでは…。

【発表・グループ討議】

- もう少しまとめがほしかった。
- ・発表者の方が突然の質問に対応するのが大変かなと思う。いろいろと質問をしたくてもなかなか発言には勇 気がいるので、質問を紙に書いてもらうのもいいかと思う。ただ、全部に答えるのは難しいかとも思う。
- ・同じ悩みを持っている園や今の状況等話し合うことができたが、発表についての質問や感想を話すことがで きずに終わってしまった。
- ・資料が少なく、早くて聴き取りにくかった。
- ・発表は自園でも問題になっていることがいくつかあり、参考になった。グループ討議は内容があまり具体的 |に話し合えるものではなかったと思う。
- ・討議の議題があいまいで話し合いにくかった。
- ・自分のいたグループにはたまたま担当制を実践している園があり、充実した話し合いになったが、その他の グループはどうだったのか。
- ・保育者の悩みを痛感した。解決ができないのでじっくりと話したかった。
- ・おもちゃ支援アドバイザーの質問があったが、答えがなかったのが残念。
- ・グループ討議の時間が長かった。
- ・担当制や地域、高齢者施設などのふれあいは、自園では設立当時から実践しているため、新しい感覚には感 じられなかった。
- ・説明がわかりにくく、どうしたらいいかわからない時間があった。
- ・テーマが大きすぎたと思う。具体的なテーマで、要点を絞って話し合いができるようにすればいいと思う。
- ・同じグループになった方の話の内容が不満ばかりだったのが気になり、話が盛り上がらなかった。
- ・一人ひとりがグループの中で自分の思いや考えを述べるのには時間が不足していた。
- もう少し具体的な話が聴きたい。

【講義Ⅱ】

動画が乱れて見えにくかった。

【実技】

- もう少し休憩がほしかった。男子同士だからこそ動きにくいこともあった。
- ・食後なので、午前中の方が動きやすいかったかも…と思った。
- ・運動会に使えるものもあったので、もっと早い時期にした方がいいと思った。
- 空調をもう少し効かせてほしかった。

【全体】

- ・レジュメを増やし、要点をメモしやすくしてほしい。
- 会場が寒かった。
- ・2時間以上の講義ではトイレ休憩がほしい。
- ・弁当を注文していないのに注文していることになっていた。